



家庭は教育の出発点



家庭教育 7 か条

- 1 あいさつをする習慣をつけさせよう。
- 2 決めた時刻に寝る習慣をつけさせよう。
- 3 身の回りの片付けをする習慣をつけさせよう。
- 4 手伝いをする習慣をつけさせよう。
- 5 してよいことと悪いことをしっかりと教えよう。
- 6 家族で会話する機会を増やそう。
- 7 できるだけ友達と外で遊ばせよう。

ポイント



学習する場所や時刻、時間を決めましょう。

- ・ 話し合っ一緒に決め、守れるよう根気よく声かけをしましょう。
- ・ テレビを見たり、ゲームやスマホをしたりする時間を話し合っ決めてみましょう。

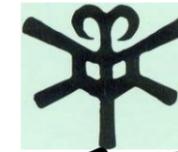
励ましの言葉を掛けましょう。

- ・ 子どものがんばりを見逃さずに褒めましょう。
- ・ 分からないところは一緒に考えましょう。

子どもの成長を見守りましょう。



城南中学校区 小中一貫教育 「家庭学習の手引き」



学びの連続性

舞鶴市の教育

義務教育 9 年間で前期 4 年（小 1 年～小 4 年）、中期 3 年（小 5 年～中 1 年）、後期 2 年（中 2 年～中 3 年）に区分し、学習の系統性や連続性を重視しています。

『学び手』を育てる教育

主体的に課題に取り組み、試行錯誤しながら問題の解決に向かい、その上で自らの学習活動を振り返って、次の学びにつなげる「学びのプロセス」を小中一貫して児童生徒に身に付けさせることを目指します。



1 基本的な生活習慣を身に付けましょう。

家庭学習習慣を定着させるために

- ・ 早寝、早起き、朝ご飯、朝の排便を大切にしましょう。

2 家庭の学習環境を整えましょう。

- ・ 決まった場所で一定の時間、学習しましょう。
- ・ テレビ、ゲーム、スマホなどのない環境で集中して取り組みましょう。
- ・ 机の上を整理しましょう。



3 毎日、継続しましょう。

- ・ ていねいな字で取り組みましょう。

学校の授業
+
家庭学習習慣の定着

確かな学力